

機関誌 つばさ



発行 認定NPO法人 よこはま成年後見つばさ
 住所: 保土ヶ谷区釜台町5番5号 ルネ上星川5-202
 TEL&FAX 045-744-5600
 E-mail info@yokohama-tubasa.org
 https://www.yokohama-tubasa.org

法人設立10周年を迎えて

つばさは、いよいよ今年設立10周年を迎えます。須田前理事長をはじめ、設立に携わった方々のご苦勞を思うと本当に頭が下がります。10周年に際しては、昨年より、記念事業の実行委員会を結成して取り組んでいます。コロナ禍で、実行を慎重に考えなければならない事業もあり、出来ることから進めていく予定です。

つばさは関係機関からの信頼も得て、多くの相談を受け、延べ102件の受任をしてきました。現在も70人余の方について活動を続けています。NPO法人としては、限界ですが、昨年は、つばさから「後見つばみ」という新たな法人も生まれました。計画相談も後見部門と連携しつつ、順調に利用者を増やしています。

10周年を契機に、もう一度足元を見直し、基本である相談、受任した方々への丁寧な対応に一層力を入れていきたいと思ひます。多くの利用者を抱え、法人としての社会的責任

も増す中、長くつばさを続けていくにはそれが可能となる体制、仕組み作りが大切だと思ひています。今後もつばさのチーム力を發揮して様々なことに対応していきたいと思ひます。

(代表理事 渡邊 修一)



緊急事態宣言

2020年は、新型コロナウイルスの蔓延で緊急事態宣言に明け暮れた毎日でした。私も80年近く生きてきて、マスクを常用するなど初めての経験です。後見業務でも大きな影響を受けました。被後見人さん達にお会いする機会が制限されてしまったからです。しかし、それを補う様々な工夫（ドア越しにお会いする、Zoomを利用する、手紙を出す等）もあり却って親密性が増したと

の報告もありました。事務所も閉じたり開けたりの繰り返しでした。一日も早いコロナの終息を願ひます。(須田)

【緊急事態宣言の再延長を受けて】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が再延長されました。これを受けまして、当法人の事務所も引き続き令和3年3月8日(月)から令和3年3月21日(日)まで原則閉めさせていただきます。ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。緊急事態宣言解除の際は改めて掲載させていただきます。

令和3年3月6日

代表理事 渡邊修一

ワクチン接種と成年後見人の代筆・同意

2月17日から医療従事者等への新型コロナワクチン接種が始まっています。4月12日（横浜市）からは、いよいよ高齢者への接種が始まります。接種を受ける方法について、厚生労働省のホームページに次のような問答があります。

Q:認知症などで本人に接種意思を確認することができない場合、家族にて同意書を書いてもらっても良いですか

A:接種には、ご本人の接種意思の確認が必要です。意思を確認しにくい場合は、ご家族等に協力いただき、ご本人の意思確認をお願いします。

なお、ご本人が接種を希望されているものの、何らかの理由でご本人による自署が困難な場合は、ご家族の方等に代筆していただくことは可能です。

この代筆・同意について、被後見人さんの

場合に成年後見人もできるとされています。根拠法は、予防接種法第2条と予防接種実施規則です。（須田）



法人後見専門員養成講座9月開講

2021年度法人後見専門員養成講座カリキュラム

主催：NPO 法人 よこはま成年後見 つばさ
共催：NPO 法人 後見つぼみ

分類	科目	担当	場所	研修日程
1. 開講挨拶	①開講の挨拶	渡邊	つばさ事務所	9月7日(火) 13:30~16:30
	②オリエンテーション(含 実習説明)	研修委員会		
2. 制度	③成年後見制度のテーマとアンチテーマ	須田	"	
	④成年後見制度概要(法定後見と任意後見)			
	⑤成年後見制度利用支援事業			
3. 倫理	⑥後見人としての倫理・心構え	須田	"	
4. 実務 実施要領 中心に	⑦申立て手続きと申立支援	熊谷	"	9月21日(火) 13:30~16:30
	⑧受任直後(初回家裁報告まで)の事務	篠崎	"	
	⑨就任中の事務・個人情報保護	渡邊	熊谷(雅)"	
	⑩初回家裁報告書作成(演習)	篠崎	"	
	⑪家庭裁判所報告と報酬付与申立・報酬助成	熊谷	"	
5. 実習 分野選択	⑫認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者 実習レポート(実習指導員コメント付き)提出	須田	"	自己設定 10月~11月
	⑬法人基本理念・法人組織・法人運営規定	渡邊	つばさ事務所	10月19日(火)
6. 法人運営	⑭スーパーバイザーの実際	渡邊	有園"	13:30~16:30
	⑮損害賠償保険	渡邊	有園"	
	⑯計画相談	藤村	"	
7. 病気・障害 の理解	⑰認知症高齢者の理解	高橋	"	11月2日(火) 13:00~16:30
	⑱知的障がい者の理解	斎藤	"	
	⑲精神障がい者の理解	横山	"	
8. ケースカン ファレンス	⑳業務検討会傍聴(経過一覧 活動報告書)	渡邊	つばさ事務所	11月16日(火) 13:30~15:30
	A 障がい事例(事例概要)	A 担当	未定	
	B 高齢事例(事例概要)	B 担当	未定	

2021年度法人後見専門員養成講座は、9月に開講します。担当者養成講座から数えて10回目になります。昨年は、コロナ禍で4月開講を9月にして、緊急短縮版で行いました。

本年度は、内容は従前に戻しますが9月開講で行います。

なお、講座はつばさと後見つぼみの両団体の共催で行います。法人後見を円滑に行っていくための重要な人材養成講座です。皆様のお知り合いにお知らせください。（須田）

2020年度の受任状況

2020年度の受任状況は以下のとおりです。

◆新規受任 13件(認知症高齢者4・知的障がい者5・精神障がい者4)

◆延べ件数 法定後見102件、任意後見1件
終了(死亡)9件(認知症高齢者7・精神障がい者1・任意後見1)

◆継続受任 69件(認知症高齢者15・知的障がい者40・精神障がい者14)

障がい者の割合が、約78%と昨年よりさらに高くなりました。法人の適正規模やSVの負担などで受任できない方もありましたが、死亡された方が予想外に多かったため、相談理由や担当者とSVの調整がついた方は候補者となりました。中には本人や親族、関係者の了解の上、NPO法人後見つぼみと調整させていただいた方もいます。

(篠崎)

林田さん、ありがとう

今まで、事務局の常勤職員として、また後見担当者として「つばさ」に貢献していただいた林田さんが、今年1月をもって退職されました。今後は、ご家族と共に宮城県で生活されるとのこと。長い間ありがとうございました。

ささやかですが、1月28日事務所で花束を贈らせていただきました。

林田さん、長い間つばさのために力を尽くしていただきありがとうございました。いつも、その優しい笑顔と明るさに癒やされました。

いつかまた、会える日が来るのを楽しみにしています。（渡邊）



計画相談室ウイングに林さんが着任

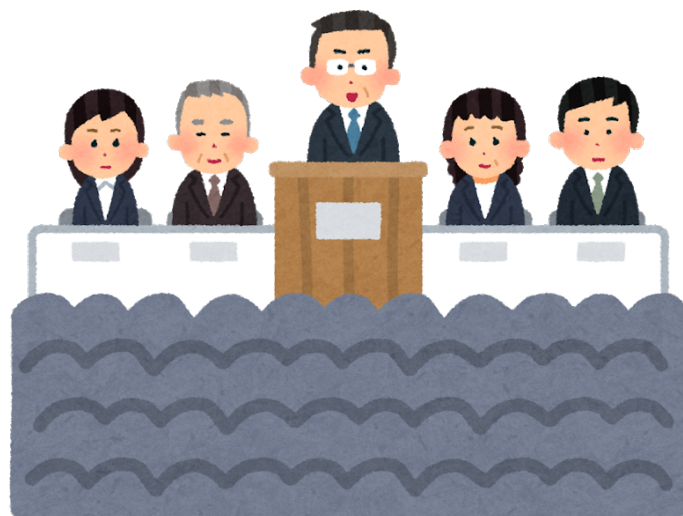
4月1日付で林 智子さんが計画相談室ウイングの常勤職員となりました。

林さんは、つばさの会員でもあり、昨年度から相談支援専門員としての計画相談の業務をつばさが委託していた方で、障害者施設等での経験も豊富な方です。週5日、計画相談業務や事務所業務を担っていただきます。強力な体制になりました。

定期総会の開催と表決について

2021年5月9日（木）開催予定の定期総会は、コロナ禍のために会場が確保できなかったため、昨年度と同様に書面決議とさせていただきます。近くになりましたら事務局よりご連絡差し上げますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
よこはま成年後見つばさ定期総会



成年後見関係事件の概況

～後見類型の減少、保佐・補助類型の増加～

毎年3月の下旬に、最高裁のホームページで前年の成年後見関係事件の概況が発表されます。今年も3月12日に、前年の状況が発表されました。それによると成年後見人等選任件数は、37,235件(前年35,959件)で3.5%の増加です。また類型は、後見が減少し保佐・補助が増加しています。

法人後見の件数は3,489件(前年2,763件)で

対前年比17.8%の増加です。全体(36,497件)の中で占める割合は9.6%(前年8.4%)でした。

なお、3,489件の内訳は社協1,455件、NPO等は2,034件です。

令和2年の特長を以下にまとめましたので参考にしてください。(須田)

<令和2年の特長>

1. 成年後見人等選任件数は、37,235件(前年35,959件)で3.5%増加しています。
2. 後見類型は、26,367件(前年26,476件)で、3類型(36,497件)の中の72.2%(前年75.2%)で、一層減少しました。
3. 開始原因では、認知症が64.1% 知的障害が9.9% 統合失調症が9.0%です。
4. 第三者後見が80.3%(前年78.2%)で、さらに増加しました。
5. 社会福祉士の受任は、5,437件(対前年比 5.9%増)
 - ・ 弁護士は、7,731件(対前年比 0.5%減)
 - ・ 司法書士は、11,184件(対前年比 6.1%増)
 - ・ 法人は、3,489件(社協1,455件 その他2,034件)で対前年比17.8%増加していますが、まだ全体の9.6%(前年8.4%)に過ぎません。
 - ・ 市民後見人は、311件(前年296件)で5.1%の増加です。
6. 市町村長申立は8,822件(前年7,840件)12.5%増加しています。全体の23.9%
7. 制度利用者数は、令和元年12月末時点で232,287人(前年224,442人)3.5%の増加。

◎法人後見再掲

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
社協	907件	1,043件	1,233件	1,241件	1,455件(17.2%増)
NPO 法人等	1,274件	1,447件	1,567件	1,722件	2,034件(18.1%増)
合計	2,181件	2,490件	2,800件	2,963件	3,489件(17.8%増)

作成：特定非営利活動法人 後見つぼみ

編集後記

◆機関誌“つばさ”の編集は主として、須田と西田さんで担ってきました。思い起こせば、2012年03月21日に「願いを翼に乗せて」としてつばさNewsをメルマガとして発行しましたが、私が病気し70号(2016年9月1日)で休刊を余儀なくされました。

その後、西田さんの協力を得て装い新たに機関誌“つばさ”を発行(2017年1月10日)出来るようになりました。通常号18回、増刊号を8回、計26回発行しました。新年度からは、私が後見つぼみ、西田さんはつなぐの法人運営に専念します。

取り敢えず須田、西田さんによる機関誌

発行は今号で終了です。ありがとうございました。(須田)

◆つばさでは、機関紙の編集や研究事業でしかお役に立てませんでした。ありがたいことに、この編集作業を通して、つばさの活動の全体像を把握することができました。26回も発行できたのは、ひとえに須田さんの企画力・継続力があってからだと思えます。感謝しております。ひとまず機関誌に関しては役割を終えます。お読みいただき、ありがとうございました。(西田)



つぼみのイメージイラスト



つなぐマスケットキャラクター